

ELで光る文字を作るネームキット ※内容物を必ずご確認ください。

※刃物の取扱いが必要です。電流も生じる製品となりますので、作業時や完成品の取扱いには十分にご注意ください。

※本書はカラー表記ではありませんので、各イラストの色は実際と異なります。

商品構成：

カット出来る EL シート (全体 85×55mm、発光面 85×50mm) × 1 /
EL シート名刺サイズ用携帯型インバーター × 1 (電池付) /
銅箔テープ付コネクタコード (コード長 20cm) × 1 /
絶縁用黒テープ × 2 種類 / 名札ケース (ピン・クリップ付き) × 1 /
トレース用紙 × 1 / カーボン紙 × 1 / 説明書 (本書) × 1

※製作には鉛筆、ハサミまたはカッターナイフが必要です。

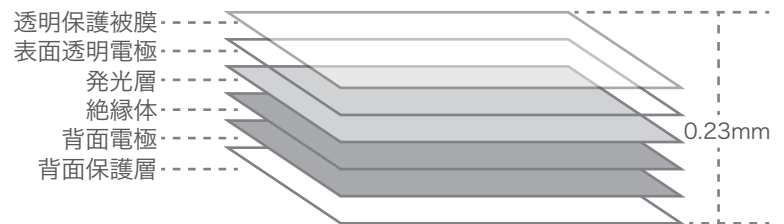
ELとELシートについて

電圧あるいは所定の周波数を加える事で電子的に熱せられた結果、生じるエネルギーを光として放出する蛍光体がEL(エレクトロルミネッセンス)です。

高誘電率バインダー中に分散した蛍光体 (EL) に交流電圧を印加することにより発光する、薄くて軽いシートがELシートです。

発光効率が良くて省電力で光り、曲げることも可能なフレキシブルな発光素材です。

※本品のELシートは無機ELシートとなります。

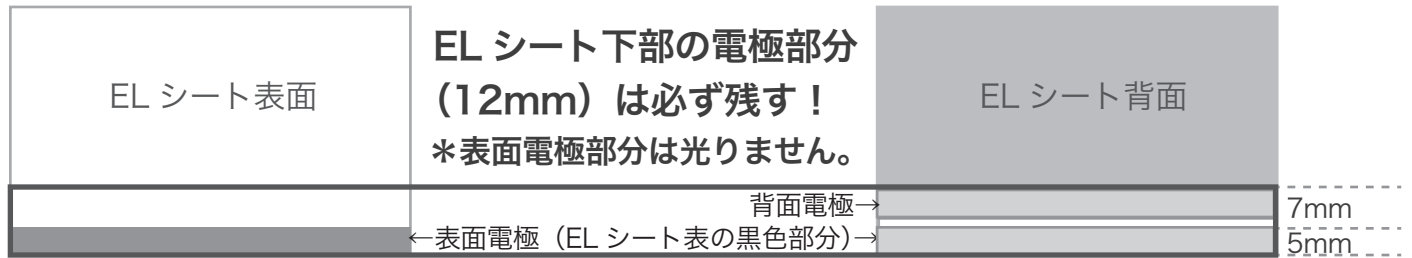


主な仕様 (カット可能なELシート)： ↑簡単な構造図
シート厚 = 約 0.23mm (曲げることが可能 * 最小曲率 R6mm)
最大電圧 = AC150Vrms、最大周波数 = 2,000Hz、
消費電力 = 0.2mA/cm² (100V rms 400Hz 時)、
動作温度 = -30度 ~ +60度、保存温度 = -40度 ~ +70度

重要：カットするデザインの注意点

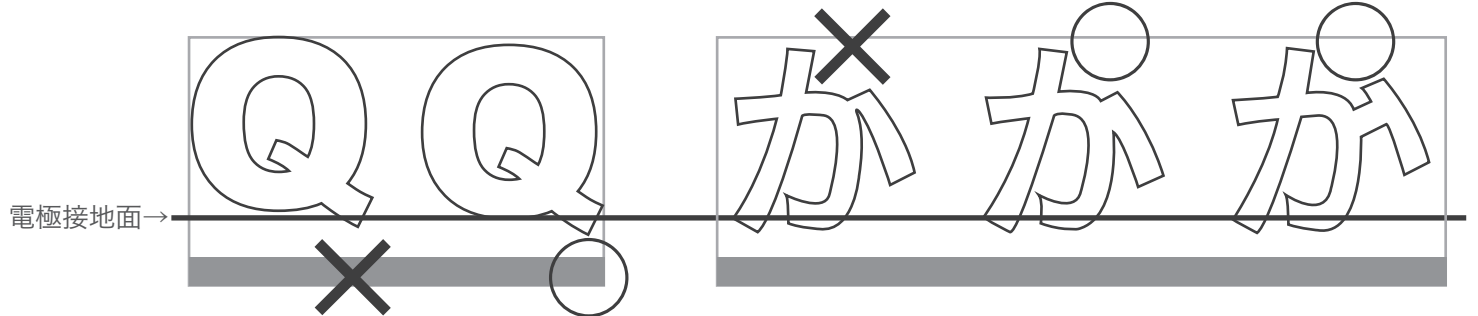
※デザイン方法は本書裏面をご参照ください。

○電極部分 (下図の黒枠内) は必ず残るようにデザインをしてください。



○文字や絵と電極部分の接地面を広く取る。

○離れるデザインでも広く接地させるか、間をつなぐ。



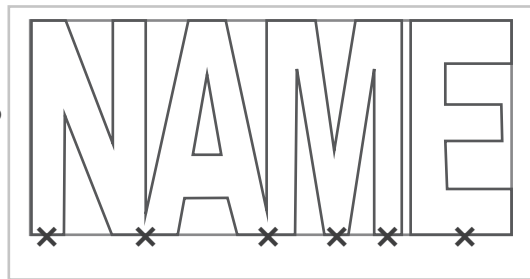
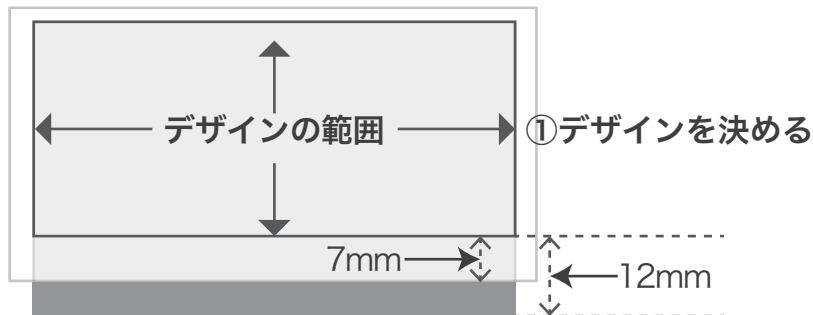
電極接地面やつなぎ目等の接地部分は名刺サイズシートの場合 3mm 以上残してください。

※電極接地面や、つなぎ部分で、発光した際に形が崩れたり余分な発光が生じる箇所は不透明シールでマスキングします。

製作する際の注意点

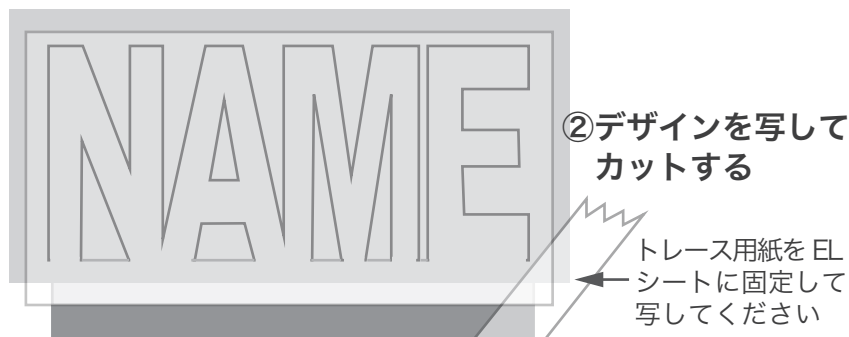
- デザインは必ず表面にて行います。シート背面が傷つくと発光しない場合があります。
- カットは良く切れるハサミかカッターナイフで必ず表面からカットしてください。シート背面からカットすると表面透明電極のエッジが剥離して、その部分が光らなくなります。
- シートに通電した状態でカットを行わないでください。シートの切断面や銅箔テープ端子部、シート背面に触れると感電の恐れがあります。点灯は必ずシートを名札ケースに入れた状態で行ってください。
- シートを極端に折り曲げないでください。シートを完全に折ってしまうと各層が切断されてしまい発光しなくなります。シートを曲げる場合は表面を外にして直径 5cm 以上になるようにしてください。
- シートが水に濡れることを避けてください。濡れてしまった場合は良く乾燥させてから使用してください。

ELで光る文字を作るネームキットの製作手順 ※WEBサイトに製作例を掲載しています。下部QRコード。



カット出来る範囲(上図黒線枠)をトレース用紙に鉛筆で書き入れます。ELシート表面黒色電極の上ラインをトレース用紙下端に合わせてと後で判りやすくなります。

トレース用紙に鉛筆でデザインをします。間違えてカットしてはいけない線(x)は消しておきます。



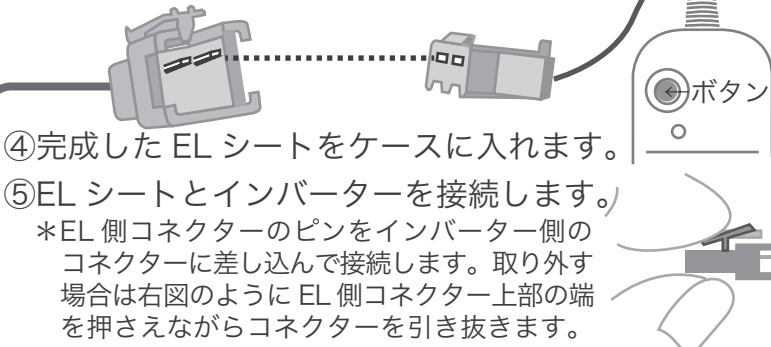
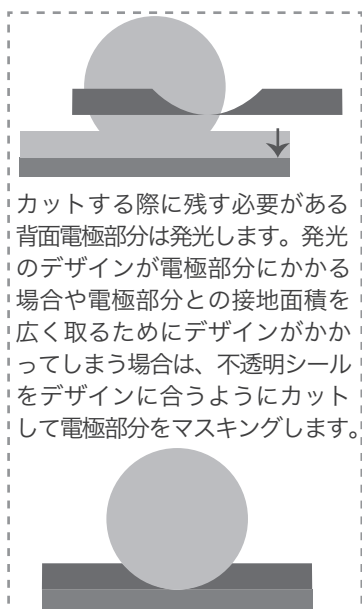
ELシート表面の上にカーボン紙を重ねてトレース用紙のデザインをELシートに写します。写したデザインに合わせてハサミやカッターナイフでELシートをカットします。

ELシートが折れないようにシート上に残った下書きを拭き取ればELシートのカットは完了です。



ELシート背面の電極部分に銅箔テープ(コネクター付)を剥離紙を剥がして上図のように各電極部それぞれにしっかりと貼り付けます。電極部上の位置は問いません。

電極部全体に絶縁テープを貼ります。
※銅箔テープ上に1枚(短)貼り、電極全体(長)に1枚を重ね貼り。



⑥インバーターのボタンを押すと発光します。*点滅、高速点滅、切替可能。

※注意! ※ケースに入れられない場合は必ずラミネート等のカバーをしてください。ELシート背面やシートの縁(カット部分の縁)は通電します。発光時、絶縁していない背面に手が直接接触すると感電の恐れがあり、電気を通す物体に背面が接触すると事故の原因になる可能性もありますので、ご注意ください。

販売者：
ケイズ・ケイ
612-8335 京都市伏見区海老屋町 1009-1
TEL. 075 (621) 1624
FAX. 075 (621) 1824
E-Mail. customer-service@kyoto-ksk.jp

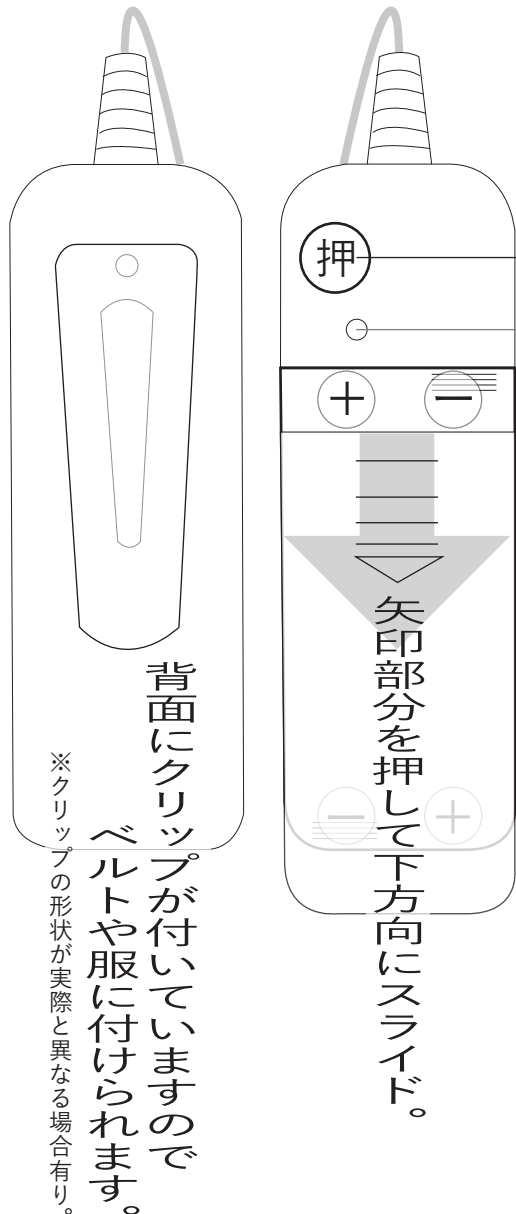
<https://www.kyoto-ksk.jp/>
「ELで文字を作るキット」
製作例掲載ページ



「発光装置インバーター」

取扱説明

1. まず最初に「発光装置インバーター」のカバーを開けて乾電池を入れてください。※イメージ参照。
2. インバーターのカバーを閉じます。ボタンを押してサイン部分の点灯を、再度ボタンを押して点滅を、再度ボタンを押して高速点滅を、確認してください。※同時に赤色パイロットランプの点灯も確認。高速点滅からボタンを押すと消灯します。なお、初期不良品の場合は新しい製品と交換いたします。



○ 単3乾電池2本使用。

✕ 注. 充電電池は使用出来ません。

消灯 → 常時点灯 → 点滅 → 高速点滅

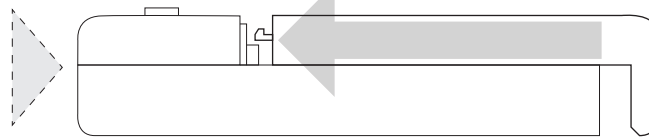
※発光時に高周波音(ピー音)が生じる場合があります。

赤色パイロットランプ※発光パターンに連動して光ります。

※電池残量が少なくなると暗い発光になり、電池残量が僅かになると消灯します。新しい乾電池に交換が必要です。

※発光部分を極端に曲げる、衝撃が加わるなどの要因で消灯する場合があります。その場合にはインバーターのパイロットランプが消えますので、再度ボタンを押してください。

単3乾電池を2本入れ、カバーを本体にはめて、スライドして閉じます。



発光可能時間(電池交換までの使用可能時間)は

WEBサイト「光る腕章」→発光データをご確認ください。→

※「ELで文字が光るネームキット」付属のELシート

サイズ発光データではありません。参考データとしてご確認ください。



! 注意: 乾電池を取り出す際は消灯(パイロットランプが消えた状態)に切り替わっていることを確認してください。

乾電池はプラス側に指を入れて外す方法をお勧めします。

※長期間使用しない場合は乾電池を取り外してください。

「発光装置インバーター」のデータ※各数値は実際と多少異なる場合があります。

- ・ 本体サイズ: L90(上部保護部分13mm有)×W32×H23-26(背面クリップ部分含む※形状によって差があります)mm。
- ・ コネクターコード長: 約130mm(厚みは7~9mm)※コネクター含む。
- ・ 重さ約20g(電池を含まない場合)。
- ・ 機能: 点灯 | 点滅 | 高速点滅※押しボタン切替。
- ・ パイロットランプ: 出力が低下(電池残量が僅かになる)すると暗くなって消灯します。

製品保証: 保証書は付いていませんが、ご購入後30日以内に正常な使用方法で故障した場合はお申し出ください。製品不良と判断される場合に限り交換いたします。※過失による故障の場合は有償交換となります。先ずご相談ください。

免責: 新品ですが海外製輸入品にて本体外側に小さな傷がついている場合があります。勝手ながらご容赦ください。